

投資日報出版(株)

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-12-11 GRANDE人形町6階

TEL:03-3669-0278 FAX:03-3668-4444

コピー対外配布厳禁

1. ドル/円

先週のドル円相場の安値は週間下値支持線に接近し、引け値は週間下値支持線と上値抵抗線の間であったので、ニュートラルであるが、強い含みである。また、週の引け値は週間トレンドインディケーターポイントを2週連続上回ったがニュートラルに留まる。今週高値引けであれば、上昇トレンドに格上げされる。

週間下値支持線は **90.28~90.58**。週の引け値が **90.28** を下回れば弱気。週の途中で下回っても、週の引け値が上回れば強気トリガー。週間上値抵抗線は **93.02~93.32**。週の引け値が **93.32** を上回れば強気。週の途中で上回っても週の引け値が下回れば弱気トリガー。弱気クロスオーバーゾーンは 110.92~111.75、116.25~117.09、120.34~120.58 に存在する。

今週は1月21日のダブルボトム 87.11 からスタートした新PC(26~40週)の4週目である。従って、相場は依然として、新PCの初期の強気の段階に位置している。この新PCの天井目標値は 98.88 ± 2.78 、あるいは 99.27 ± 1.44 であり、それは4月半ばまでに付けるだろう。あるいは早ければ、3月7日前後の金星逆行転換時の可能性もある。相場が87.11を下回れば、これは否定され、また88.50を下回っても、ドルにとっては弱気が始まる。

ストラテジー

87.11以下、あるいは88.50以下の引け値でストップロスを入れてロングを維持するのが良いだろう。この最終的な狙いは3月第1週目までこのポジションを維持し、その後、ドルが96.00~101.00に向けて反騰したときに一部あるいは全部の利食いを狙う事である。

2. ユーロ/ドル

先週のユーロ/ドル相場の安値は週間下値支持線を下回ったが、引け値は上回ったので強気トリガーである。また引け値は週間トレンドインディケーターポイントを6週連続下回ったので、下降トレンドに留まる。今週の引け値が1.2918を上回ればニュートラルに格上げされる。

週間下値支持線は **1.2674~1.2689**。週の引け値が **1.2674** を下回れば弱気。週の途中で下回っても、週の引け値が上回れば強気トリガー。週間上値抵抗線は **1.3047~1.3062**。週の引け値が **1.3062** を上回れば強気。週の途中で上回っても、週の引け値が下回れば弱気トリガー。強気クロスオーバーゾーンは 1.2425~1.2474、1.2166~1.2189、及び 1.2015~1.2040 に存在する。弱気クロスオーバーゾーンは 1.4200~1.4322、及び 1.5322~1.5458 に存在している。

今週は10月28日、及び11月13日のダブルボトムからスタートしたPC(21~34週)の16週目である。2月12日日の安値1.2720は2月2日の1.2704の再テストであった。2月2日の安値はストキャスティックスの上昇を伴っていた。それはハーフPC(11~17週)のボトムであった可能性がある。このハーフPCボトムの目標値は1.2686~1.2643であった。ボトム確認のシグナルは引け値で25日移動平均(現在1.3014)を上回る必要がある。一旦これが実現すれば、1.5000以上への反騰の可能性はある。

ストラテジー

トレーダーはロングするか、あるいは、週間下値支持線の引け値を維持していれば、ロングしても良いだろう。

3. ユーロ/円

先週のユーロ円相場の安値は週間下値支持線に接近し、引け値は週間下値支持線と上値抵抗線の間であったのでニュートラルであるが、強含みである。また、引け値は週間トレンドインディケーターポイントを2週連続上回ったがニュートラルに留まる。今週高値引けであれば上昇トレンドに格上げされる。

週間下値支持線は **115.55~115.91**。週の引け値が **115.55** を下回れば弱気。週の途中で下回っても引け値が上回れば強気トリガー。週間上値抵抗線は **120.71~121.07**。週の引け値が **121.07** を上回れば強気。週の途中で上回っても、週の引け値が下回れば弱気トリガー。弱気クロスオーバーゾーンは124.95~125.63、131.34~132.52、140.72~140.96及び150.58~153.25に存在する。

今週はPC(21~31週)の16週目であり、また、第2ハーフPC(11~17週)の4週目である。先週次の通り述べた“もし相場が弱気であれば、第2ハーフPCの天井に向けての反騰は、 121.54 ± 2.25 までに過ぎないだろう。もし相場が第1ハーフPCの天井131.03を上抜けばこのPCは強気ライトトランスレーションになる。……通常、このようなケースでは反騰では新高値をつけない。且つ次の下げは1月21日の安値112.04を下回るだろう”。

さて先週の高値は120.01であったので、第2ハーフPCの天井の目標値(121.54±2.25)に入りつつある。まだ、天井をつけたとのサインは見られない。また、もしユーロが今週強ければ、この目標レンジに入るだろう。更にこの目標値を上回る可能性もある。しかし、引け値が週間下値支持線を下回れば弱気になるだろう。

ストラテジー:積極的なトレーダーは過去2週間のストラテジーに基づいてロングしても良いだろう。但し、112.04以下にストップロスを入れるか、あるいは相場が121.54±2.25まで反騰して上げ止った時に一部利食いするのが良いだろう。もし、ロングしていれば、ストップロスのレベルを115.50以下の引け値まで引上げるのが良いだろう。

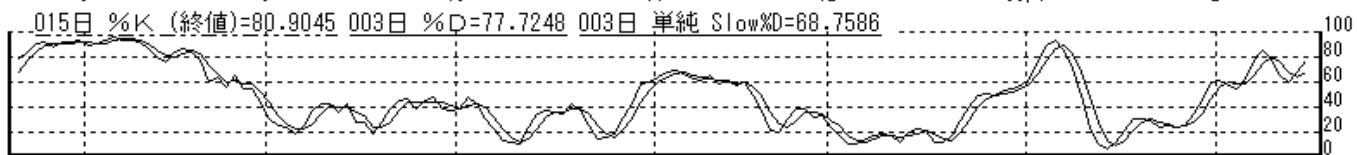
このレポートは将来の見通しの適確性、あるいは収益性を保証するものではありません。各トレーダー及びレポートの読者は自己責任で取引してください。このレポートの筆者も発行人も金融、あるいは商品市場における各参加者の決断については一切責任を負いません。先物、あるいはオプション取引は高リスクを伴うと考えられています。

USD/JPY(BID) 日足 期間08/07/22~09/02/16(150)高110.64(08/08/15)安87.11(09/01/21)
09/02/16 始91.54 高91.92 安91.40 終91.64

25日 終値単純 MA=90.07

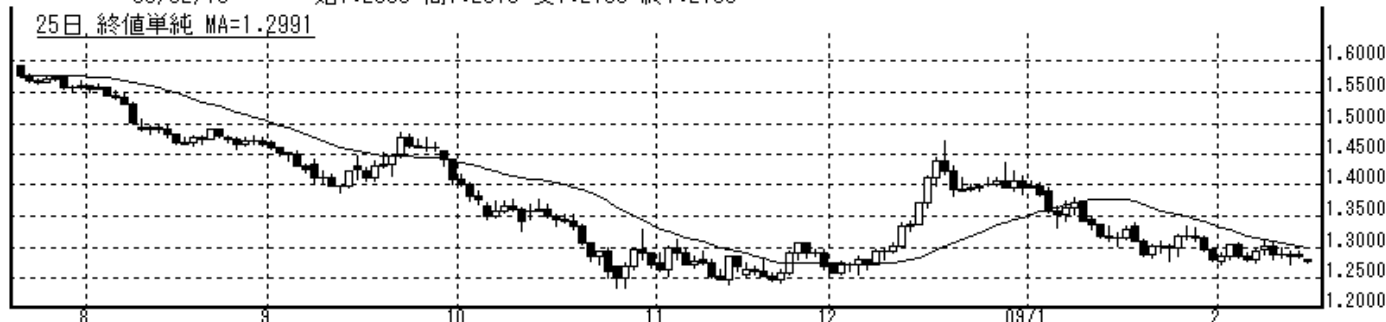


.015日 %K (終値)=80.9045 003日 %D=77.7248 003日 単純 Slow%D=68.7586

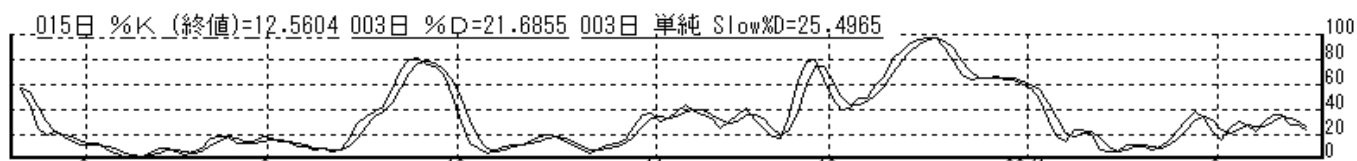


EUR/USD(BID) 日足 期間08/07/22~09/02/16(150)高1.5942(08/07/22)安1.2329(08/10/28)
09/02/16 始1.2806 高1.2810 安1.2755 終1.2783

25日 終値単純 MA=1.2991



.015日 %K (終値)=12.5604 003日 %D=21.6855 003日 単純 Slow%D=25.4965



ユーロ/円 日足 期間08/07/18~09/02/13(150)高169.98(08/07/23)安112.04(09/01/21)
09/02/13 始117.04 高118.82 安116.51 終118.49

25日 終値単純 MA=117.16



.015日 %K (終値)=78.0029 003日 %D=64.2695 003日 単純 Slow%D=62.3405

